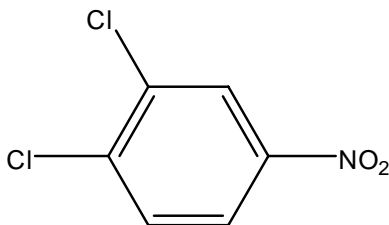


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	3-455	CAS No.	99-54-7
名称 構造式等	名 称：1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン 別 名：1,2-Dichloro-4-nitrobenzene 3,4-Dichloronitrobenzene DCNB 分子量：192.00 分子式：C ₆ H ₃ Cl ₂ NO ₂ 構造式： 		
外観	黄色結晶塊		
溶解度	121 mg/L (水、20)		
分解性	難分解性		
蓄積性	低濃縮性		
純度	93.7%		
用量設定 試験	投与用量	0, 100, 300, 600, 1,000 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	300 以上：死亡(8/18)() 100：着色尿(), RBC (), Hgb (), Hct (), RET (), 肝臓 g あるいは腎臓 g (), 脾臓腫大(), 好酸球比 (), MCV (), MCHC (), 単球比 ()	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット、投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：オリブ油	
	投与用量	0, 4, 20, 100 mg/kg/day, 回復群 0, 100 mg/kg/day (R100)	
	投与期間	42 日間、 42-49 日間	
反復投与 毒性 主な結果	一般状態	：流涎(100) ：流涎(100), 死亡(1/12)(100)	
	行動機能 観察	影響なし	
	体重	：体重 (100)	
	摂餌量	：摂餌量 (100) ：摂餌量 (20, 100)	
	尿	影響なし	

	血液学	: RET (20, 100), Hgb (100), MCHC (100, R100) : Hgb (100), MCHC (100), RBC (100), Hct (100, R100), MCV (100, R100), MCH (100, R100), RET (100)
	生化学	: BUN (100), Cl (100), T-Cho (100), T-Bil (100) : Na (100), T-Bil (100)
	臓器重量	: 脾臓% (100, R100), 脾臓 g (100), 肝臓 g・% (100) : 脾臓 g・% (100), 肝臓 g・% (100, R100)
	病理組織	: 近位尿細管の硝子滴沈着(2uグロブリン陰性)(20, 100, R100), 脾臓のヘモジデリン色素 (100, R100), 肝臓のクッパー細胞のヘモジデリン沈着 (100, R100), 脾臓の赤血球系随外造血の亢進(100, R100), 脾臓の赤血球系随外造血のうっ血(100), 小葉中心性肝細胞肥大(100) : 脾臓のヘモジデリン色素 (4, 20, 100, R100), 肝臓の赤血球系随外造血(20, 100), 肝臓のクッパー細胞のヘモジデリン沈着(20, 100, R100), 近位尿細管上皮の空胞化(100), 脾臓の赤血球系随外造血の亢進およびうっ血(100), 小葉中心性肝細胞肥大(100)
	標的臓器	腎臓、肝臓、赤血球造血系
生殖発生毒性 主な結果	親動物	影響なし
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性: 4, 4 未満 生殖発生毒性: 100
	推定根拠	反復投与毒性 20: RET , 近位尿細管の硝子滴沈着(2U グロブリン陰性) 4: 脾臓のヘモジデリン色素 生殖発生毒性 毒性影響なし
NOEL		反復投与毒性: 4, 4 未満 生殖発生毒性: 100
	推定根拠	反復投与毒性 20: RET , 近位尿細管の硝子滴沈着(2u グロブリン陰性) 4: 脾臓のヘモジデリン色素 生殖発生毒性 影響なし
備考		

本データは，平成 19 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。